

教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成31年3月18日(月) 午後2時30分～午後5時30分
- 2 場 所 伊東市役所高層棟4階中会議室
- 3 出席者 1番 高橋 雄幸君 2番 井上 靖史君
3番 山本 香織君 4番 沼田 芳美君
5番 村上 恵宏君
- 4 参 与 教育部長 富士 一成 次長兼教育総務課長 岸 弘美
教育指導課長 操上 俊樹 幼児教育課長 稲葉 祐人
生涯学習課長 杉山 宏生
- 5 事務局 教育総務課課長補佐 鈴木 慎一
教育総務課課長補佐 太田 靖久 主事 杉山 詩乃
- 6 会議の経過

教育長：ただ今から伊東市教育委員会3月定例会を開会する。議事に先立ち事務局から報告を行う。

(事務局から出欠報告及び資料確認)

教育長：それでは議事に入る前に会議の非公開について諮る。教報第22号「平成31年度小中学校教職員の人事異動(案)について」と、教報第23号「平成31年度小中学校職員(市職員)及び幼稚園・保育園職員の人事異動(案)について」は、人事案件のため伊東市教育委員会会議規則第9条により秘密会としたい。賛成の委員は挙手願う。

(委員全員挙手)

教育長：では、教報第22号及び教報第23号については秘密会とすることを決定し、全案件終了後に報告を行う。

教育長：それでは議事に入る。始めに前回の会議録の確認を行う。2月定例会

の会議録について修正点等はあるか。

(意見なし)

教育長：会議録を原案どおり承認してよろしいか。

(委員全員から賛成の声)

教育長：承認が得られたので、2月定例会会議録は原案どおり決定する。

会議録の署名は井上委員にお願いする。

教育長：議事に入る。教育長報告を行う。3月定例会教育長報告事項について、主な内容のみ説明を行う。

2月19日 伊東市教育研究奨励賞授与式

21日 小中学校教頭会、タウンミーティング（伊東商業）、
伊東少年警察連絡協議会定例会

22日 議会本会議

24日 手習い妓の会

25日 議会本会議、教育問題懇話会より答申書提出

28日 区長委嘱状交付式

3月 1日 市長答弁調整、県立伊東高校定時制卒業式、
西ロータリークラブ定例会

4日 議会本会議、校長会

5日 議会本会議

6日 議会本会議

7日 議会本会議

10日 中央区立宇佐美学園修了証書授与式、オペラ舞台演奏会

11日 県教委特別支援教育課長来庁

12日 福祉文教委員会

- 13日 校長会
- 14日 東部社会教育振興協議会理事会、
東部特別支援学校伊東分校卒業証書授与式
- 15日 静岡県教職員組合役員来庁
- 16日 社会福祉協議会行事
- 18日 教育委員会定例会、市長と教育委員の懇談会、
竹の台幼稚園卒園式、自動車整備協会より文房具寄贈

以上で報告を終わるが、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

教育長：それでは、各委員からの報告をお願いします。

委員：2月19日（火）に開催された伊東市教育研究奨励賞授与式に出席した。保育園から高校まで教育のつながりを持ち、保育の質を高める職員指導が大事だと感じた。応募が年々少なくなっているので、副賞をもう少し充実させてほしい。受賞者からはやり遂げた充実感や成長を感じた。

委員：同じく伊東市教育研究奨励賞授与式に出席した。単年度ではなく何年かに渡った研究の発表は難しいと思うが、良くまとまっていた。

教育長：それでは、議題に入る。議決事項、教議第10号「平成31年度伊東市教育行政の基本方針について」を議題とする。

(**教育長**から資料に沿って説明)

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：幼児教育において保育士不足が問題になっているが、人材確保や保育園同士の交流など行政からの提案が子育て環境の向上に繋がるのではないかとと思う。

稲葉幼児教育課長：全国的に見ると保育士が7年くらいで辞めてしまうという

データがある。伊東市は全国的なもの比べると少し長いので、比較的安定した保育園運営ができているかと思う。人材確保に苦慮している園に関しては、保育園に出向いて相談を受けたり、支援をしたり等はしているが、どこも不足しているので、十分な状態まで人材確保をすることは難しい。業務改善や支援策等、今後も対策を考えていきたい。

委員：現在学校の統廃合の話が出ているが、統廃合ありきではなく、人口を増やすという考えのもと子育て支援の充実をすることが重要なのではないか。保育士確保の面で、採用の枠や条件を拡げることや、民間保育園への人材支援等ができれば良いと思う。図書館・文化ホールの建設に関しても、子育て支援の部分を充実したものにしたい。

委員：“夢や希望を持つ”という部分が素敵だと思う。自己有用感はすごく大事なことで、自己有用感によって不登校等も変わっていくと思う。

文化財を保護し、伊東に愛着を持って帰ってきてくれるように、教育にも取り入れて子どもたちに知ってもらいたい。

杉山生涯学習課長：伊東市の文化財について、出前授業を行っているが、予算や時間の調整が難しい。教育で取り入れていけるよう努力したい。

委員：自己肯定感・自己有用感ということが謳われていてとても良いと思う。子どもたちは好奇心をくすぐられると自発的に学習することができると思うので、先生方に上手くやってもらえると良いと思う。命を守る力として、食育等は学ぶとは思いますが、教育委員会としては学校施設が壊れて怪我をするということが無いようにしてもらいたい。

操上教育指導課長：学習習慣については、家庭学習にどう学校が入り込めるのか、家庭環境も様々なため難しい部分がある。各教科で有効な課題の出し方を模索して行っている。

教育長：この件について確認する。教議第10号「平成31年度伊東市教育行政の基本方針について」は原案どおり承認してよろしいか。

(委員全員から賛成の声)

教育長：承認が得られたので、教議第10号については、原案どおり決定した。

教育長：次に、教議第11号「伊東市公立学校管理規則の一部を改正する規則について」を議題とする。

(操上教育指導課長から資料に沿って説明)

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：共同学校事務室には各学校に配置された事務職員とは別に新たに職員を配置するのか。

操上教育指導課長：新たに配置するのではなく、普段学校にて業務を行っている各学校の事務職員16人が3ブロックに分かれ、1ブロックごと1、2週間に1回半日程度共同学校事務室に集まり業務を行う。

教育長：この件について確認する。教議第11号「伊東市公立学校管理規則の一部を改正する規則について」は原案どおり承認してよろしいか。

(委員全員から賛成の声)

教育長：承認が得られたので、教議第11号については、原案どおり決定した。

教育長：次に、教議第12号「伊東市江戸城石垣石丁場跡保存活用委員会規則について」を議題とする。

(杉山生涯学習課長から資料に沿って説明)

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

教育長：平成28年3月に国指定の文化財となった。守っている方が多くいるが高齢になってきているので、保存活用をしっかりとやっていきたい。

教育長：この件について確認する。教議第12号「伊東市江戸城石垣石丁場跡保存活用委員会規則について」は原案どおり承認してよろしいか。

(委員全員から賛成の声)

教育長：承認が得られたので、教議第12号については、原案どおり決定した。

教育長：次に、報告事項に入る。教報第20号「伊東市立小・中学校における適正な学校規模及び配置のあり方について(答申)」を議題とする。

(事務局から資料に沿って説明)

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：今後の進め方として、パブリックコメントをどういう形で求めるのか。基本方針としてこうなるというモデルを出すと思うが、学校が無くなった後の地域のデメリット面を理解してもらうために、懸念がある部分も伝えていった方が良いのではないか。新聞紙面等の報道発表はどのタイミングとなるのか。

岸次長兼教育総務課長：パブリックコメントのやり方は市の統一的なやり方がある。市のHPに開示を行い、方針を公開し、意見を聞く方法と、窓口に原本を置いて、インターネット環境が無い方にも意見投稿ができるよう新聞紙上で広報を図る方法とが一般的なので、それに沿うようにしたい。1つ1つの意見に対してコメントを付けてHP等で公開する。方針については、4月の定例会にて協議をしていただき、その後の総合教育会議にて報道が入るかと思うので、そこが報道に出るタイミングかと思われる。ただ、基本方針ではあるので、今後地域の方や保護者等と話をしていくなかで具現化し計画に移っていくと思われる。

委員：パブリックコメントはどのくらい集まるものか。

岸次長兼教育総務課長：市民の関心が高く、意見が言いやすいものだと100件近く集まることもあるが、0件の場合もある。できるだけ多くの意見をもら

いたい。市長の考え方としてボトムアップ方式による市政運営があるので、パブリックコメントだけでなく、タウンミーティング等色々な手段を使って意見を聞くことがあるかと思う。

教育長：子どもたちの教育環境を整えていく視点で、今後の在り方についてしっかり議論して進めていきたい。

教育長：次に、教報第21号「平成31年伊東市一般会計教育費当初予算（案）及び伊東市教育行政の主要事業（案）について」を議題とする。

（富士教育部長から当初予算について資料に沿って説明）

（各課長から主要事業について資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

教育長：市民の税金なのでしっかりとした体制で運営していきたい。

教育長：次に、教報第22号「平成31年度小中学校教員の人事異動（案）について」及び教報第23号「平成31年度小中学校職員（市職員）及び幼稚園・保育園職員の人事異動（案）について」は、先ほど承認いただいたとおり、秘密会とし、全案終了後に報告を行う。

教育長：次に、教報第24号「春季休業中における教職員の服務及び学校（園）施設等の管理について」を議題とする。

（操上教育指導課長から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

教育長：次に、教報第25号「平成30年度学年末休業及び平成31年度学年始休業における小中学校の児童生徒指導上の留意事項について」を議題とする。

（操上教育指導課長から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：卒業生の管理について、3月31日までは卒業した小学校、4月1日からは入学する中学校というようになるのか。

操上教育指導課長：基本的には何かあったら、3月31日までは元の学校、4月1日からは新しい学校に連絡をするよう、保護者等にもお知らせをしている。

教育長：次に、教報第26号「伊東市立幼稚園の貸出し延長について」及び教報27号「伊東市立竹の台幼稚園の貸出しについて」を議題とする。

（**稲葉幼児教育課長**から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：竹の台幼稚園については警察署も近く立地が良い。例えば玖須美保育園の園児に園庭や遊技室を貸出す等、子どもたち使えるように活用できれば良いと思う。

稲葉幼児教育課長：幼稚園の園庭は閉め切りにすることができるため、子どもたちが利用するには使いやすいと思う。各幼稚園・保育園に呼びかけ、有効活用していきたい。

教育長：以上で報告事項を終了する。

教育長：次に、その他に入る。「市議会3月定例会の報告について」を議題とする。

（**富士教育部長**から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

教育長：次に、その他「各課報告について」を議題とする。

岸次長兼教育総務課長：教育総務課から2点報告を行う。1点目は小中学校の空調設備設置事業の中間報告についてである。当初7月稼働を目指していたが、

全国的な特需により機材の納品期間がかかることにより、早くても9月以降になることが予想されるため、設置時期が遅れることについて、3月12日の福祉文教委員会にて報告を行い、合わせて市内全小中学校の児童生徒の保護者に学校を通じて通知をした。福祉文教委員会の報告事項については、翌日の伊豆新聞等に掲載された。現在、設計が完了し、関係各課と入札の準備を進めている。

2点目は、育英奨学基金に寄付をいただいたので報告する。2月27日に伊東市在住の個人の方より伊東市育英奨学基金へ100万円の寄付をいただいた。この多大なる支援を、育英奨学金の貴重な財源として役立てたいと思う。

操上教育指導課長：教育指導課から2点報告を行う。1点目は、西ロータリークラブより市内全中学校へ図書各校10万円分、計50万円分の寄付をいただいた。図書教育にとってとても有益であるため、有効に使いたい。

2点目は、生徒指導について平成31年度の総括として報告する。問題行動については、比較的落ち着いているが、同じ子が繰り返す傾向がある。本人や保護者に繰り返し指導しているが、なかなか難しい部分がある。粘り強く指導等続けていきたい。昔は、喫煙やバイク盗が多かったが、今は減り、SNSを使った問題や生徒間暴力が増えている。不登校については、中学校で5%を超えているため喫緊の課題である。市議会では、ただ単に学校へ来るように促すだけではなく、学校以外の外の社会でも生き生きとできるよう、行政としても考えていく必要があるのではないかという意見をもらったので、検討していきたい。いじめについては、認知という考え方やいじめの定義について意識改革を行ったため、教職員の丁寧な対応ができているかと思う。上手な友人関係・人間関係づくりや、子どもたちに強く生き抜く力をつけるためにどうしたら良いのかが課題である。

稲葉幼児教育課長：幼児教育課から2点報告を行う。1点目は、西ロータリークラブより、保育園へ図書購入費用の寄付をいただいた。有効活用していきたい。

2点目は、平成31年度の幼稚園・保育園の新入園児数について報告する。

(資料に沿って説明)

杉山生涯学習課長：生涯学習課から今後の事業について報告する。平成31年度事業については日程等の調整を行っている。市民の学習意欲を高め、交流の場を提供するために行う市民大学講座については、例年よりひと月早い5月から始動させるため、広報いとう4月号にて告知募集を行う。講座内容については、「ゼロからはじめるパソコン講座」5月14日から全8回、「Let's 身につく旅行英会話」5月14日から全7回、「丸魚1匹、どんとこい!魚のさばき方」5月15日から全3回、「暮らしの中の機織り」5月10日から全6回を予定している。

教育長：ただいまの報告について、意見・質問はあるか。

委員：民間幼稚園の平成31年度新入園児数はどのくらいか。

稲葉幼児教育課長：野間自由幼稚園にて3～5歳児合わせて116人、2歳児18人、伊東聖母幼稚園にて3～5歳児合わせて19人、2歳児7人となっている。伊東聖母幼稚園の2歳児については、毎日通うのではなく週に1回程度通うものである。

教育長：今後の日程について確認する。

4月の定例会については、4月15日(月)午後2時30分から

5月の定例会については、5月22日(水)午後1時30分からを予定している。

教育長：それでは冒頭で決定したとおり、教報第22号及び教報第23号の報

告を行うが、非公開とし、当局は富士教育部長、岸次長兼教育総務課長及び操
上教育指導課長のみ入室を認めることとする。

教育長：それでは報告事項、教報第22号「平成31年度小中学校教員の人事
異動（案）について」を議題とする。

（**操上教育指導課長**から資料に沿って説明）

教育長：次に、教報第23号「平成31年度小中学校職員（市職員）及び幼稚園・
保育園職員の人事異動（案）について」を議題とする。

（**岸次長兼教育総務課長**から資料に沿って説明）

教育長：以上で伊東市教育委員会3月の定例会を終了する。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長 高橋 雄幸

委員 井上 靖史

書記 杉山 詩乃